

太助米 栽培履歴

作成 西村 敏

- 1、場所 奈良県御所市 鳥居前の北圃場 8a
- 2、秋処理 11月～12月
 - 元肥 馬糞 15kg × 140袋
 - カカオ粕 20kg × 12袋
 - ゆうき石灰 20kg × 2袋
 - ミネラル 20kg × 2袋
 - EMぼかし 20kg × 2袋
 - EM活性液 10L × 1袋
- 3、あらおこし 1月～3月
- 4、春処理 4月
 - EMぼかし 10kg × 12袋
 - EM活性液 10L × 1袋
 - その後、なかおこし
- 5、代掻き 5月
 - 作業数 3回
 - EM活性液 10L × 1袋
- 6、種籾巻き（箱苗）
種籾の立ち枯れ予防薬液処理後、箱苗撒きと苗代設置
- 7、田植え 6月
 - 除草対策 田植え後（2～3日後）
 - 発酵油粕 20kg × 2.5袋
 - 10日おきにEM活性液10Lを注入
 - 後は随時手作業
- 8、追肥 7月末～8月はじめ
 - 発酵油粕 20kg × 1～2袋（状況を見ながら）
- 9、防虫対策 9月
 - EM活性液の葉面散布 3～4回
- 10、稲刈り 10月
 - コンバインによる稲刈り後、乾燥機。
 - 乾燥後、籾摺り